

# 地震に備える

## 1 防災訓練

●防災訓練に誘いあつて積極的に参加し、防災行動力を身につけましょう。

## 2 家庭の防災会議

●大地震のとき、家族があわてず行動できるように、ふだんから話し合い、それぞれの分担を決めておきましょう。

・家の中でどこが一番安全か  
・救急医薬品や火気などの点検。

・幼児や高齢者の避難は誰が責任をもつか。

・避難場所はどこにあるか。  
・避難する時、誰が何を持ち出すか、非常持出袋はどこに置くか。

・昼の場合、夜の場合の家族みんなの分担をはっきり決めておく。

●避難カードを作成し、各自携帯しましょう。

## 3 家の補強

●柱、土台や屋根瓦などを点検し、老朽化しているものは、補強しておきましょう。

## 4 ブロック塀、石塀の補強

●これらの被害は、基準どおりの鉄筋が入っていないとか、転倒防止の控壁を設けていないなど、施工上の欠陥によるものが多いので、もう一度我が家の塀の点検をしましょう。

## 5 家具等の転倒防止、落下防止

●家具等はトメ金等で固定しておきましょう。

## 6 消火器などの備え

●「いざという時」のために消火器や消火用水のほか、消火に役立つものを普段から用意し、備えておきましょう。

## 7 非常持出品の準備

●避難場所での生活に最低限必要な準備をし、また負傷したときに応急手当ができるように準備をしておきましょう。

●非常持出袋などは、いつでも持ち出せる場所に備えておきましょう。

## 8 火災を防ぐ

### ①電気火災を防ぐには

●地震を感知して自動的に電源を切る感震ブレーカーを設置する場合には、避難上重要な照明器具などの電源が確保されるかどうかを確認しましょう。

●電気機器は、どのような安全装置が付いているのか確認してから購入しましょう。

### ②ガス機器や石油機器を安全に使いましょう

●ガスマイコンメーターの特性や使い方を理解しておきましょう。

よう。

ましょう。

●石油ストーブは「耐震自動消火装置付」のもの、ガスストーブは「転倒時ガス遮断装置付」のものを使用しましょう。

●ガスコンロ周辺の棚などに載せてあるものが落ちてこないようにしましょう。

## 9 家族の安否の確認方法

●地震時に落ち合う場所をあらかじめ定めておきましょう。

●地震時に安否情報の取次ぎをしてもらえる親戚、知人等（遠方に住んでいる人であることが必要）を決めておきましょう。

●NNT「災害用伝言ダイヤル171」の活用を家族で決めておきましょう。



## 9月5日(日)は防災訓練

町では、毎年「防災の日」(9/1)にちなんで“防災訓練”を実施していますが、今年は9月5日(日)に実施します。

訓練は、上堺地区を対象として実施する予定です。

いざという時に、適切な行動がとれるよう訓練には、ぜひ参加してください。



昨年の防災訓練（大総地区）